

第 65 回全国保育問題研究集会 in 福岡



かたらんね

実行委員会ニュース No.4

2026. 2. 04

メインテーマ

わたしも あなたも しあわせであるために つながり合い 学び続ける

サブテーマ

- ・すべての子どもの発達を保障し、権利を守るために学び合おう
- ・生命を守り育てるために、戦争や災害を自分たちのこととして考え、伝え語り合おう
- ・誰もが自分らしく安心して生活するために、公的保育制度を充実させよう
- ・保問研 90 年の歴史を引き継ぎ、わたしたちの保育実践を深め合おう

“かたらんね 1”でお知らせしていた段階ではメインテーマ、サブテーマ共に(案)としていましたが、正式に決定をしました！！基調提案も完成し、1/25(日)の実行委員会で共有しています。いよいよ 6 月には福岡の熱い思いをお届けします！！



福岡探訪①(太宰府天満宮)



〔“仮殿” 森のようなデザインです 〕

福岡の有名観光地「太宰府天満宮」。全国に約 12,000 社ある天満宮の総本宮です。現在 124 年ぶりの御本殿大改修が行われており、「仮殿」という形で参拝が行われています。その改修が 5 月の下旬に終わり、祀られている菅原道真公の御霊を本殿に戻す斎行を経て、仮殿はその使命を終え解かれます。集会の時期には改修を終えた新しい本殿を参拝できるかと思えます。参道には豊富なグルメも立ち並ぶ天満宮。ぜひ足を延ばしてみたいかがでしょう！？

特別講座の紹介【久留米絁】

集会の特別講座を紹介します。今回は「久留米絁(くるめがすり)」です！！久留米絁は江戸後期に久留米の井上 伝 (いのうえ でん) という 12-13 歳の少女が織り手として生計を支え、絁織を成功させたといわれています。綿や藍の栽培が盛んな地域だったこともあり、明治以降庶民の衣服として愛用されました。その特徴は、天然藍で糸を先に染めてから織ることで生まれる、やわらかなかすれ模様です。

今回の講座ではワークも準備しています。その内容は、天然藍で染めた久留米絁の布片を貼り合わせた“絵葉書”の制作です。天然藍の香りや絁布の手触りを感じながら、小さい布をつなぎ合わせて心象画や風景を描くように思い思いの一点を作りあげてくださいね。

講師は、松枝小夜子さんです。松枝さんは国指定重要無形文化財久留米絁技術保持者です。現在、「藍生庵(らんせいあん)」で 6 代目として自身も制作を続けながら、職人の育成と地元の子どもへの制作指導を行われています。



“絵葉書制作のワーク”
こんな素敵な絵葉書ができあがります。人数に制限があるので、申し込みはお早めに！！



“藍染め”
二つとして同じ物はありません。一つひとつが唯一無二の柄です。